

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 地域スポーツ振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係

電話番号：058-272-1111 (内 2948)

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,259 千円 (前年度予算額：14,158 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,158	0	0	0	0	0	0	0	14,158
要求額	25,259	0	0	0	0	0	0	0	25,259
決定額	25,259	0	0	0	0	0	0	0	25,259

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 平成25年度は県民に広くスポーツに親しむ機会を提供することを目的に、ぎふ清流国体・大会1周年記念イベントを実施。
- 平成26年度から、「清流の国ぎふ2020プロジェクト」の一環として、スポーツを通じた交流人口拡大や地域活性化を図るため、各種のスポーツ教室や体験イベントを実施している。

(2) 事業内容

- ぎふ清流郡市対抗駅伝集客・広報事業 (継続事業)
10月第3週日曜日に開催される「ぎふ清流郡市対抗駅伝」の集客事業
- 一流アスリートスポーツ教室 (継続事業)
- FC岐阜活用広報事業 (継続事業)

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 (県によりスポーツを通じた地域振興、地域の絆づくり、競技水準の向上を進めるものであるため)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅 費	72	打合せ旅費等
消耗品費	1,485	地域スポーツ振興事業全体に係る消耗品費
印刷製本費	225	駅伝チラシ作成
役務費	106	地域スポーツ振興事業全体に係る役務費
委託料	23,371	ぎふ清流郡市対抗駅伝の盛り上げ・広報事業 一流アスリートスポーツ教室開催 F C 岐阜活用広報事業
合計	25,259	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

平成25年3月に施行された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の目的・基本理念にある「競技水準の向上に資する施策」「明るく豊かな県民生活の形成及び活力のある地域社会の実現」「地域の絆づくり及び地域の活性化」などを実現するための事業であり、今後複数年に渡り事業を継続する。

事業評価調査書

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

子どもから大人まですべての県民が生涯にわたってスポーツに触れ、親しみ、心身ともに健康で活力に満ちた生活が送れるよう、スポーツを通じた地域づくりを推進するため、ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業、一流アスリートによるスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の向上を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
スポーツ実施率	37.9 (H18)	47.6 (H29)	48.6 (H30)	43.7 (R1)	65.0 (R3)	67.2%

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業においては、第11回大会を2020年（令和元年）10月20日に開催。大型モニターを使用しての実況中継や屋台村・PRブース等の当日参加イベントを同時開催し、約1,700名の来場があった。

2020年（令和2年）に開催予定であった第12回大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1年延期とした。2021年（令和3年）10月17日開催予定。

県産品PR事務費（消耗品費）においては、岐阜オープンクラシック：4月開催、ツアーオブジャパン：5月開催でそれぞれ副賞を提供し、県産品のPRに効果があった。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

ぎふ清流郡市対抗駅伝振興事業においては、2020年（令和2年）に開催予定であった第12回大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1年延期。2021年（令和3年）10月17日の開催に向けて、万全のコロナ対策を講じた安全安心な大会運営を行い、参加選手のモチベーション向上や県民への周知に取り組む。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清流の国ぎふスポーツ推進条例に基づいた取り組みであり、実施の必要性が高い事業である。 ・ 県が進める施策であるため、県が主催することが妥当である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅伝振興事業は、参加選手のモチベーション向上、県民への当駅伝に対する周知の効果が得られた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅伝振興事業は、前年度実績（屋台村売上、選手・来場者アンケート）をもとに、業務内容の改善と効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 駅伝振興事業においては、アスリートファーストの視点から参加選手に負担がかからないことを第一に、当駅伝大会の盛り上げを図っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 駅伝振興事業において、平成28年度から大型モニターを使用した実況中継を行った。また、第11回（令和元年）大会では新県庁舎建設に伴い、メイン会場を県庁立体駐車場周辺に変更したことで一体感が高まり、選手・関係者・観客からは好評を得た。選手・来場者アンケート結果等を反映し、実況中継の内容向上及び屋台村・PRブースの改善を行い、次年度以降もアスリートファーストの視点から継続して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—